ミニコンサート＋講演会型（中学校）

学　校　名	大垣市立西部中学校
実　施　日	平成２６年９月１８日（木）
会　　場	スイトピアセンター　スイトピアホール
参 加 人 数	保護者６５名
学習課題（分野）	ミニコンサート＆講演会
運営者の願い	「家庭教育学級の参加者を増やしたい」「骨髄移植という重い話も，堅苦しくなく，楽しんで聴いてもらえるようにしたい」という願いから，つながる命～心やすらぐ音楽とともに～というテーマで，ピアノの生演奏とのコラボ企画とした。

学　習　の　内　容

１．ミニコンサート

ピアノ演奏　　河村　義子　氏

・ＮＨＫ連続ドラマ「花子とアン」の主題歌「にじいろ」から演奏会は始まりました。

・クイズで作曲家紹介。

　ベートーベン「乙女の祈り」

　バッハ「Ｇ線上のアリア」

　サン・サーンス「動物の謝肉祭」

・ショパン「幻想即興曲」

「音色がふえることが喜び」という河村さんの楽しいトークと素晴らしい演奏であっという間に楽しい時間が過ぎました。

２．講演会

講演　　田中　重勝　氏（大垣市文化事業団）

演題　　「決断　命の一滴」

・“プロジェクトＸ”テーマ曲のピアノ演奏と共に，田中重勝さんの講話が始まるという素晴らしい演出でした。

・１９８９年，日本で初めての骨髄バンク登録者による骨髄移植が行われました。このときのドナー第１号が講師の田中さんです。

・移植手術を受けるにあたっての家族の反応や，田中さんの迷いや決意，提供に向けての体調管理や入院時のエピソードなどが紹介されました。田中さんの事例がもとになり，その後の移植手術がさまざまに改善されたそうですが，言い換えれば，それだけ多くのご苦労のあったことが伺えます。

・「骨髄バンク」推進に向けての移植後の活動を紹介していただきました。骨髄バンク登録者の減少や高齢化などが問題ですが，「ドナーには，未来につながる明るいメッセージがある」の言葉に元気づけられました。

・最後は，シュトラウス「ラデッキー行進曲」の演奏でした。家庭教育学級長さんの合図で，手拍子を“弱く・強く”と打ち分け，曲を盛り上げました。参加者が同じ時間を共有していることを実感することができ，会場全体がひとつになった素敵なフィナーレでした。

３．参加者感想

・素敵な雰囲気の中で素晴らしい演奏を聴き，心が癒されました。

・ドナー第１号が大垣市の方とは知りませんでした。田中さんの勇気に感動しました。

・骨髄移植についていろいろ知りました。夕食の話題としたいです。

会場は，スイトピアホール。学校から離れ，忙しい子育てを忘れ，心癒されるピアノの生演奏は，まさに至福のときと言える。

家庭教育学級の運営費削減のため，減免申請・使用料無料のピアノ・レンタルの大投げ入れ（花）などの様々な工夫や素敵な演出があった。

家庭教育学級長手作りのウエルカムボード

家庭教育学級の企画にあたっては，まず，運営者の『自分が楽しみたい』という思いを大切にしたい。この思いから生まれた企画は，必ず参加者も楽しませ，満足させることができる。

また，運営者の強みも生かしたい。「音楽が好き，大垣のすばらしい人を紹介したい」の願いが，よく分かる企画だった。